

## 平成 30 年度

### 第9回（12月）教育委員会定例会会議録

日 時：平成 30 年 12 月 20 日(木) 15 時 00 分～17 時 00 分

場 所：村民センター小会議室

出席者：教育長 清水 閣成

委 員 清水 道直・林 百代・出羽澤和子・薄田 東

事務局：教育次長 伊藤 弘美

社会教育指導員 小池 雅司

書 記：池上 博子

以上 8 名

傍聴人：1 名（うち報道機関 1 名）

#### 1 開 会

#### 2 教育長あいさつ

村図書館に、日本図書館協会『図書館雑誌』連載の「小規模図書館奮闘」への原稿執筆依頼があり、お手元に係長の原稿を用意させていただいた。今年で 25 歳になる村図書館であり、歩みとともにスタッフの願いが記されています。今後も地域の中にある村図書館を目指しています（資料）

#### 3 報告・確認事項

(1) 地域ぐるみで子どもを育てる（原々案）について （会議資料 1）

<教育長>

前回お示ししました「地域ぐるみで子どもを育てる」ことについて、社会教育指導員より説明いたします。

<社会教育指導員>

資料を基に概要説明。

社会教育と学校教育をつなぐコーディネーターとしての立場で、子どもの育ちを村全体で考える月間・共育の日について提案。子育てに対する思いと今あるいろいろな取組み・活動をつなぎ、再構成し一つの取り組みとして、7 月を月間とし 23 日を共育の日を中心としていく方向を考えたい。このことにより、更なる「子育てに優しい村」を描きたい。また、子育てキャッチフレーズを考えたい。

<教育長>

いろんなところでの動きを、全体を描き・共有しながら進める大事な動きと考える。地域コミュニティを子どもを真ん中に置き築いていく営みを大事にした

<各委員>

- ・子育ての方向を共有することの大事さを思う。保育園での取り組みで「～がるっ子」などが座っていると、どの保育園でも目指すことが同じであり、分かり易さがある。
- ・子どもにかかわるところが連携していくことは大事。  
何を具体的に行動していくか。声かけ・イベント等からか。いつから行動していくか。

<社会教育指導員>

再来年度からと考えている。形を先に整えるのではなく、来年度は関係のところに提案し、醸成させていきたい。

<教育長>

村第5次総合計画・基本計画後期を（平成）32年度末までに策定するのでタイミング的には重なると思う。次年度できるところから動いていきたい。

<各委員>

地域の中で子どもとの関係が希薄になっている。高齢化の問題も含めて何ができるのかを時間をかけて皆で考え、できることから動いていくことを大事にしたい。

<教育長>

動いていく中で、社会教育指導員他から報告等いただきながら検討し、創り上げていきたい。

(2) 人権講演会開催について（会議資料9）

<社会教育指導員>

人権講演会開催期日等について説明及び参加依頼

(3) 「放課後子ども教室」構想について（会議資料2）

<教育長>

- ・11月定例会でお示した放課後子ども教室について検討を深めたい。  
\*資料を基に趣旨・活動案等について説明

<各委員>

- ・放課後児童クラブの人数が膨らんできている。放課後児童クラブを分ける観点ではなく、子ども達が学校ではできない体験活動を行い、放課後を過ごす状況を整えたい。
- ・何人位の子が希望するのか、また利用料をどうしていくのか活動時間、迎えのあり方等課題。
- ・計画案では夏休みに活動を組み年間通した参加を原則としている。休み中は家庭に帰すことを大事にしたい時でもある。

<教育長>

- ・夏休みを長くしていくことの検討において「受け皿」的に活動を整えるという話があるが、個人的にはそれとは重ねて考えたくない。

<各委員>

- ・夏休みは、子ども未来塾・こども館・地区行事等がある。

コーディネーターがどう整えるか。

- ・毎日参加することを基本とした場合、この活動は参加したい、この日は都合悪いということにならない。家庭・子どものニーズとしてどうか。習い事や塾に通っている児童のニーズに応じることができるのか。
- ・活動は、皆同じことをするのか、ある程度選んでできるのか。  
いろいろな魅力ある活動を展開する講師の先生を整えることが必要。
- ・子ども達に常に大人が準備した活動・環境を用意することがどうなのか？募集する場合何をポイントとしていくのか。「本村」として考える必要があるのでは。留守番することの大事さがある。
- ・動き始めながら検討することもある。
- ・放課後児童クラブは異年齢の児童で構成されるが、ある程度支援サイドで活動を組んだり、指導したりしないと異年齢で構成される良さが出てこない面がある。放課後児童クラブは見守りが主。
- ・親子関係が希薄と言われる中、家に大人がいる場合でも家人の都合で放課後子ども教室に参加させる場合がないか…

<教育長>

大事な観点をいただいた。検討課題はあるが動き出しながら解決していくこともある。可能な範囲で実施していく方向で庁内で話を進めてみることで良いでしょうか。

<教育委員>

了解

(4) 文化財保護について (会議資料3)

<教育長>

- ・12月定例議会で伊那街道の保護について質問をいただいた。教育委員会は文化財専門委員会に任せきりではなく、ビジョンを持って文化財の保護について考えて欲しい。という内容です。
- ・教育委員会としては、文化財保護について文化財専門委員会任せにしているわけではないが、文化財専門委員会の考えをいただかないと判断できないことが多い。
- ・伊那街道の保存については、各地区の皆さんが尽力しているが保存・保持について温度差がある。
- ・今後、伊那街道について文化財専門委員会の考えをいただき、どう保護・保持していくのか、について描いていきたい。委員の皆様ご承知ください、

<教育委員>

- ・文化財の保護はどうしているのか？各地区？

<教育長・教育次長>

- ・各地区及び老人クラブ等をお願いしている場所もある。

(5) 子どもの権利とスポーツの原則」について (会議資料4)

<教育長>

同じく12月定例議会で「子どもの権利とスポーツの原則」についてお考えを

いただいた。ごもっともなことであるとともに、答弁の前日に県からも依頼文が教育委員会事務局に届いた。「わくわくスポーツクラブ」にも紹介し、研修会などで活用することを促した。ご承知ください。

(6) 児童・生徒数について

資料にもとづき、報告がなされた。(会議資料5)

(7) 事故報告

非公開 (会議資料6)

(8) 各委員から(課題、希望)(口頭にて)

<教育委員>

- ・学校において読書活動がどれ位行われているのか。学校での朝読書等の活動時間、貸し出し数について調べられるか。

<教育長>

- ・1月の定例委員会でお伝えします。

<教育委員>

- ・こども館で小学校のあるクラスが活動している。学校の外に出て、外部講師から学ぶことはとても大事だと考える。
- ・学級でよい話し合いができています。

(9) 12月事業報告・1月事業計画について

資料にもとづき、報告がなされた。(会議資料7)

(10) 1月・2月定例会について

1月23日(水) 15時40分から 予定

2月19日(火) 15時から 予定

(11) 村3か年計画について

<教育次長>

資料にもとづき、報告がなされた。(会議資料8)

4 その他

特になし

以上